予算決算委員会会議録

1. 開催年月日

令和6年 3月18日 開会 10時25分 閉会 10時39分

2. 開催場所

全員協議会室

3. 出席委員名

沖久教人	三宅孝之	多賀信祥	柳原英子
山下憲雄	細羽敏彦	西村慎次郎	荒木謙二
柳井一徳	惣台己吉	坊野公治	上野安是
西田久志	大滝文則	宮地俊則	佐藤豊

4. 欠席委員名

なし

5. その他の会議出席者

(1) 議長 三宅文雄

(2) 説明員

副市長	猪原慎太郎	総務部長	藤原雅彦
総務部次長	西村直樹	総務部参与	岡崎祐一
総務課参事	西本晴雄	税務課長	大山次郎

(3) 事務局職員

事務局長	和田広志	次長	成智千恵
------	------	----	------

6. 傍聴者

(1) 一般 0名

(2) 報道 0名

7. 発言の概要

委員長（西田久志君） 皆さん、おはようございます。

ただいまから予算決算委員会を開会いたします。

初めに、副市長のご挨拶をお願いします。

副市長（猪原慎太郎君） 皆さん、改めましておはようございます。

本会議に引き続いての予算決算委員会を開催いただきました。大変ありがとうございます。この委員会に付託されております案件でございますが、令和6年度井原市一般会計補正予算（第1号）でございます。どうか慎重にご審議をお願いしたいと思います。本日はどう

ぞよろしく申し上げます。

〈議長挨拶〉

〈議案第38号 令和6年度井原市一般会計補正予算（第1号）〉

〈歳入〉

〈歳入全般〉

〈なし〉

〈歳出〉

〈歳出第15款 総務費〉

委員（西村慎次郎君） まず、この費用の内訳、どういう改修があるからこれだけかかるんだという費用の内訳をお教えていただければと思います。

税務課長（大山次郎君） 今のご質問は、改修内容ということでよろしいでしょうか。費用の金額の工程の内容。

委員（西村慎次郎君） 改修概要はここへ説明資料にあるんで分かるんですが、この改修に必要な、具体的に聞くと、じゃあ何画面の改修が必要なのかとか、データベースが何項目追加になるとか、帳票としてどれぐらい改修があるからこれだけかかるんだっていう、その内訳が分かればお願いします。

税務課長（大山次郎君） システムの内容の画面数ということになると詳しくは申し上げられない、今手持ちにないんですけれども、概要内容としては、まずこの減税を行いますご説明を申し上げましたとおり、納税者本人及び扶養の方それぞれ1万円ずつ金額を減額するという賦課計算の論理設定というものがございます。そちらに対しまして、今度実際課税した内容を賦課する必要があるございますので、各徴収区分、給与特徴、普通徴収、年金特徴、この3種類についての期割り、どのように金額を減らしていくのかというような期割り計算接設定もございます。

そうしました上に、またこちら納税通知書につきましてもこちらの金額を反映させて記載していきませんといけませんので、そちらの納税通知書の項目追加。あと、課税証明書等の証明書の内容についても変更いたしませんといけませんから、そちらの変更内容。あと、こ

れにつきましてはコンビニにおいての証明も行っておりますので、コンビニにおける証明の内容の印刷もちゃんと改修する必要がございます。もちろん、これ職員が実際パソコンでオンライン画面を見る必要がございますので、こちらのオンライン画面の項目の追加もでございます。

こちらの賦課内容につきましてはマイナンバーを介して福祉部門等に情報共有を行いませんといけませんので、そちらの項目の改修も含まれております。こちらが概要でございますけれども、改修の詳細ということになります。

委員（西村慎次郎君） ありがとうございます。

多分、このシステムに対して維持管理のための保守費用って負担されてると思うんですが、この改修がその保守費用の中で一部でもできるんじゃないかなという気はするんですが、その辺、追加の費用しかないのか、保守の中でこれだけ減額されてこの金額になっているとかというのがありますでしょうか。

税務課長（大山次郎君） 毎年毎年こういった税制改正というものが行われて、やはり毎年度改修というのは少なからず発生してくるものでございます。軽微なものにつきましてはそういった年度の保守費用の中で対応できるというものでございますけれども、このたびのような大きな内容の改修になりますので、そういったものについては業者とヒアリングをして、保守内容でいけるのではないかとといったようなことはもちろん協議の上、今回につきましてはその中では行えないということで、追加で予算計上させていただいている次第でございます。

委員（西村慎次郎君） 分かりました。

これ、国の法改正なんですけど、一般財源を使っただけの改修になるんでしょうか。

税務課長（大山次郎君） こちらの財政措置につきましては国のほうも回答を出しております、先ほど申し上げましたとおり、今回の改修については定例の、毎年行われている税制改正に伴うものであるということでございまして、この関係経費については普通交付税措置というものがなされておりますので、国の考えとしてはそちらの普通交付税措置でしているもので、財政の措置は国としてはそういった対応をしているという回答がございます。

委員（大滝文則君） 定額減税に係るシステム改修ということでございますけれども、これ以外に、また新たに補正予算を出してまたシステム改修をしなければならないというようなこともあるんでしょうか。それはもうここで完結しとるのでしょうか。そのあたりについて説明をお願いします。

税務課長（大山次郎君） このたび予算計上させていただいているものは、こちらは税の定額減税、あくまでも市税で課税させていただいている所得税の減税に関わるシステム改修

でございます。国のほうの施策といたしましては、この定額減税に加えまして、今後定額減税にし切れなかった人については調整給付金ということで給付金を支給するという政策内容になっておりますので、それにつきましては、全くこのたびのシステム改修には含まれておりません。こちらのシステム改修はあくまでも減税部分ということで、今後予想されるのは、その後調整給付金の給付金を支給するために、システム改修またはシステムを新しく購入するというようなことが予想されますので、その際にはまた予算要求をしなければならないということを考えております。

委員（大滝文則君） ということは、定額減税の部分とそれにかからなかった人に対する給付金というものが今後も発生するとなると、例えば来年度以降も同じようなことが発生するとなると、このたびのシステム改修でそれは全部対応できるということで考えればよろしいでしょうか。

税務課長（大山次郎君） このたびのシステム改修は、この定額減税についてのみのものでございますので、その定額減税についての計算はこのシステム改修で完了できますけれども、それにプラスした給付関係については全くこれでは対応できませんので、新たに考える必要があるものでございます。

委員（大滝文則君） 次の給付金の分については、また新たなシステム改修で対応して、これとセットですると来年以降はできるかなというようなご答弁と受け止めました。

それと、このたびの1万円の市民税の還付ですけれども、これは自動的に各納税者のほうへ入るということでよろしいでしょうか。

税務課長（大山次郎君） このたびの定額減税につきましては、あらかじめ本来であれば所得割をお願いするはずであった金額から差し引くというものでございますので、あらかじめ市のほうで本来の市県民税の所得割額から差し引いたものを皆様に、給与特徴なり普通徴収なり年金特徴で減額した後のものをお願いするということになりますので、こちらは皆様のほうで何か申請が要するというようなことではございません。

〈なし〉

〈一般会計補正予算全般についての質疑〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

委員長（西田久志君） 以上で議案の審査は終了いたしました。

なお、委員会報告書の作成につきましては、委員長にご一任願いたいと思います。

〈異議なし〉

委員長（西田久志君） 閉会に当たり、執行部で何かございましたらお願いいたします。

副市長（猪原慎太郎君） 皆様方におかれましては、慎重にご審議をいただきまして、大変ありがとうございました。

この定額減税の関係ですけれども、給付が発生する方もたくさん出てくるということでもあります。大変事務が煩雑になることが予測されておりますけれども、誤りのないようにこれから進めていきたいと思っております。本日は誠にありがとうございました。

〈議長挨拶〉

委員長（西田久志君） 以上で予算決算委員会を閉会いたします。皆さん、ご苦労さまでした。